

離床センサー 現場レポート！

VOL.28
Sep.2011

「離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します！」

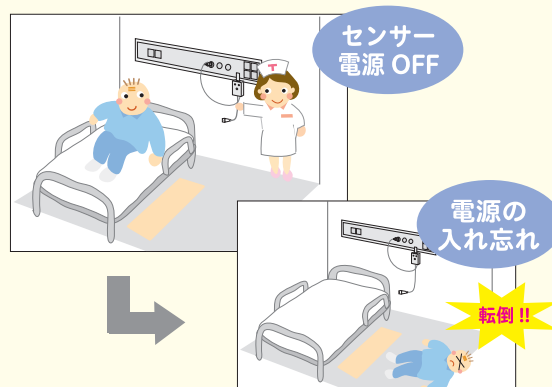
病院スタッフと離床センサー対象者の家族の協力でセンサーの電源入れ忘れによる転倒事故の防止策を実施されている O 病院様の工夫をご紹介します！

静岡県・O 病院様

ご使用機種：コールマット・コードレス

課題

離床センサーを使用中の対象者に家族の面会があった時は、不要な報知を避けるために電源を切る事がある。しかし、家族が帰った事にスタッフが気づかず、センサーの電源が入っていない状態で対象者が離床し、転倒事故が発生した。



対策

面会後のセンサー電源の入れ忘れ防止策として、「センサーコール OFF カード」を作成。センサーの電源を切る時に家族にカードを渡し、面会終了時にスタッフをナースコールで呼んでもらい、カードと引き換えにセンサーの電源を入れる対策をルール化した。



センサーを切る時に
ご家族に渡し、
面会終了時に
カードと引き換えに
電源 ON！

効果

対策によりセンサーの電源入れ忘れが激減し、電源の入れ忘れに伴う転倒事故の発生を防止できた。また、家族からもスムーズな協力が得られると同時に、転倒・転落対策の必要性を理解してもらう事ができた。



O 病院様の『センサーコール OFF カード』使用ルール

O 病院様では離床センサーの電源入れ忘れ防止策として下記をルール化されています！

- * 離床センサーと「センサーコール OFF カード」はセットにして運用する。
- * 離床センサーは原則として常時電源を ON にする。（検査や入浴時など、対象者不在時も電源 ON）
- * 離床センサーの電源スイッチを OFF から ON にした時は、必ず動作チェックをしてコールが鳴る事を確認する。
- * 離床センサーの電源が ON の時は「センサーコール OFF カード」を無線中継ボックスに付けておく。